

第 3 回 平 群 町 地 域 公 共 交 通 会 議

「コミュニティバス路線見直し(案)」

平成 2 2 年 1 0 月 1 5 日

平群町地域公共交通会議 事務局

目 次

■ 住民アンケート調査結果の概要	1
1. アンケート調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. アンケート調査結果の概要	1
■ ヒアリング調査結果（バス利用者・バス非利用者）の概要	9
1. ヒアリング調査の目的	9
2. 実施概要	9
3. ヒアリング調査結果の概要	10
■ ヒアリング調査結果（観光客）の概要	12
1. ヒアリング調査の目的	12
2. 実施概要	12
3. ヒアリング調査結果の概要	13
■ 平群町公共交通の課題	14
■ 平群町公共交通の課題と対応方針	21
■ コミュニティバス運行計画（案）	22
1. 基本方針	22
2. 課題への対応方針	22
3. 具体的対応案	23
■ コミュニティバス利用促進計画（案）	28
■ 今後の課題	29
■ 次回交通会議での検討事項	30

■住民アンケート調査結果の概要

1. アンケート調査の目的

コミュニティバス路線の策定、公共交通利用促進方策の立案にあたり、平群町住民の現在の移動手段・移動方法の把握、コミュニティバスに対する意見、要望等の把握を行い、平群町にふさわしい方策を立案するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 実施概要

実施期間	平成 22 年 8 月 26 日～平成 22 年 9 月 26 日
配布方法	・平群町全世帯 7,675 世帯に各 1 部配布 ・調査票および依頼状は平群町広報誌と同時に配布 ・アンケート回収 BOX に予備票を配置
回収方法	【回収方法】 ・以下の場所に回収 BOX を設置（全 20 箇所） （役場、中央公民館、あすのす平群、かしのき荘、プリズムへぐり、道の駅、人権交流センター、総合スポーツセンター、平群中学校、平群北・東・西・南小学校、平群幼稚園、はなさと保育園、南保育園、近鉄東山駅、元山上口駅、平群駅、竜田川駅） 【回収に向けた広報】 ・平群町 HP での情報掲載による周知 ・長寿会、PTA 等の各種団体へ協力依頼
回収数・回収率	回収数 1,449 票 回収率 18.9%
回答者属性	性別：男 36%、女 64% 年齢：65 歳以上が最も多く、全体の 54%を占める 地区：若葉台（153） 初香台（122） 緑ヶ丘（112）での回答が多い

3. アンケート調査結果の概要

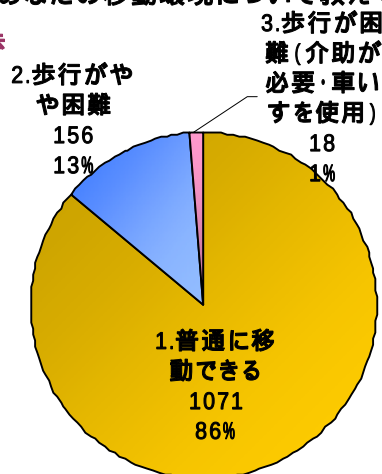
(1) 住民の日常行動

自立的な移動手段を有する人が多いが、高齢者ではその割合が減少している。

- 自分や家族・知人が自動車を運転することにより移動が可能な人は 85%、徒歩の移動が困難でない人は 86%となっている。
- 65 歳以上の高齢者では、自分で運転できる人の割合が全体平均より 14 ポイント減少、徒歩の移動が困難でない人も 10 ポイント減少している。

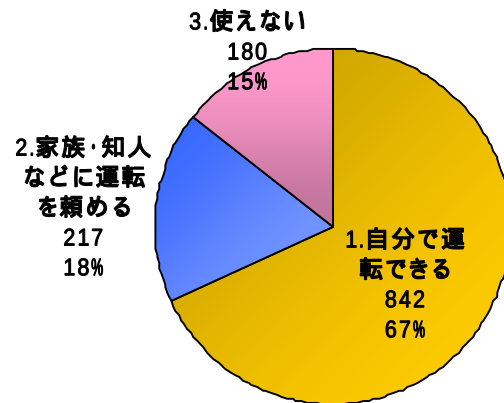
Q5 あなたの移動環境について教えてください。

■ 徒歩



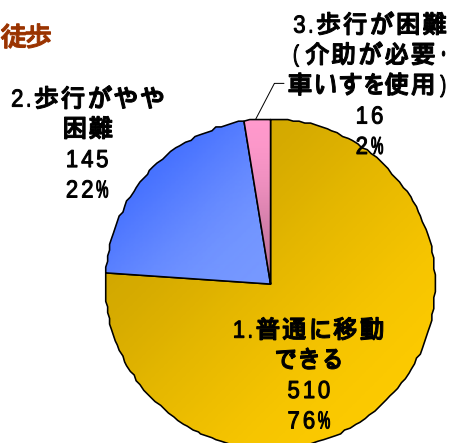
Q5 あなたの移動環境について教えてください。

■ 自動車

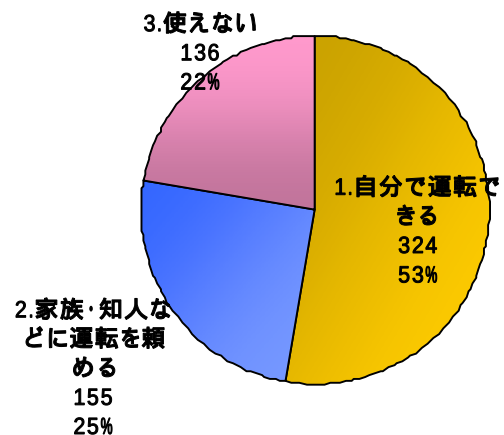


65 歳以上（高齢者）の移動環境

■ 徒歩



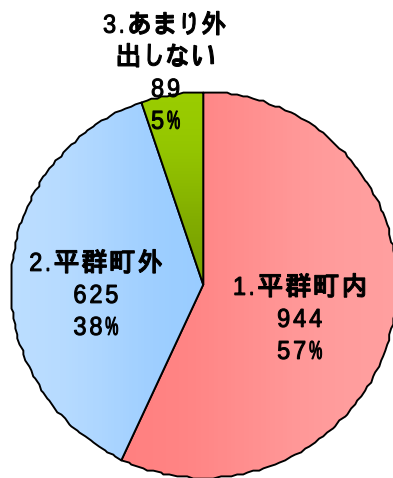
■ 自動車



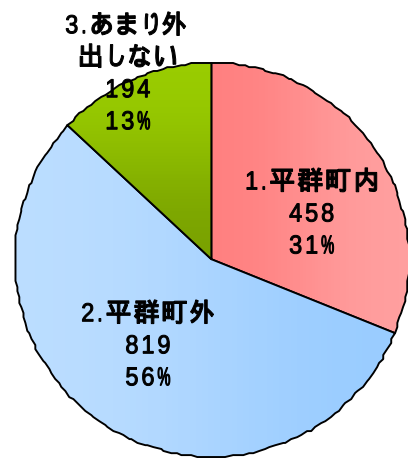
平日は平群町内、休日は町外への移動が多い。

- 平日の主な外出先としては、平群町内が最も多く 57%だが、休日は町外に行く人が多く、町内の移動は31%にとどまる。
- 平日毎日外出する人は全体の 40%であるが、65 歳以上の高齢者では22%である。

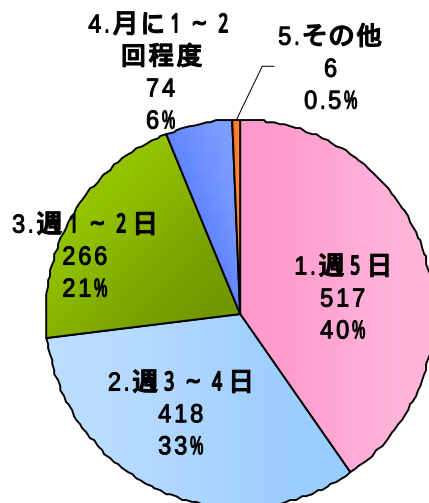
Q6 あなたの平日の主な外出先はどちらですか。



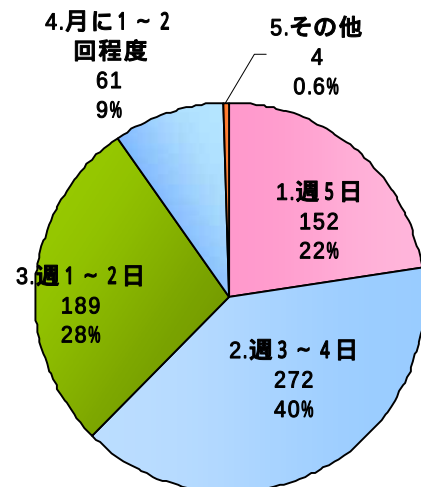
Q6 あなたの休日の主な外出先はどちらですか。



Q10 平日の外出の頻度はどれくらいですか。



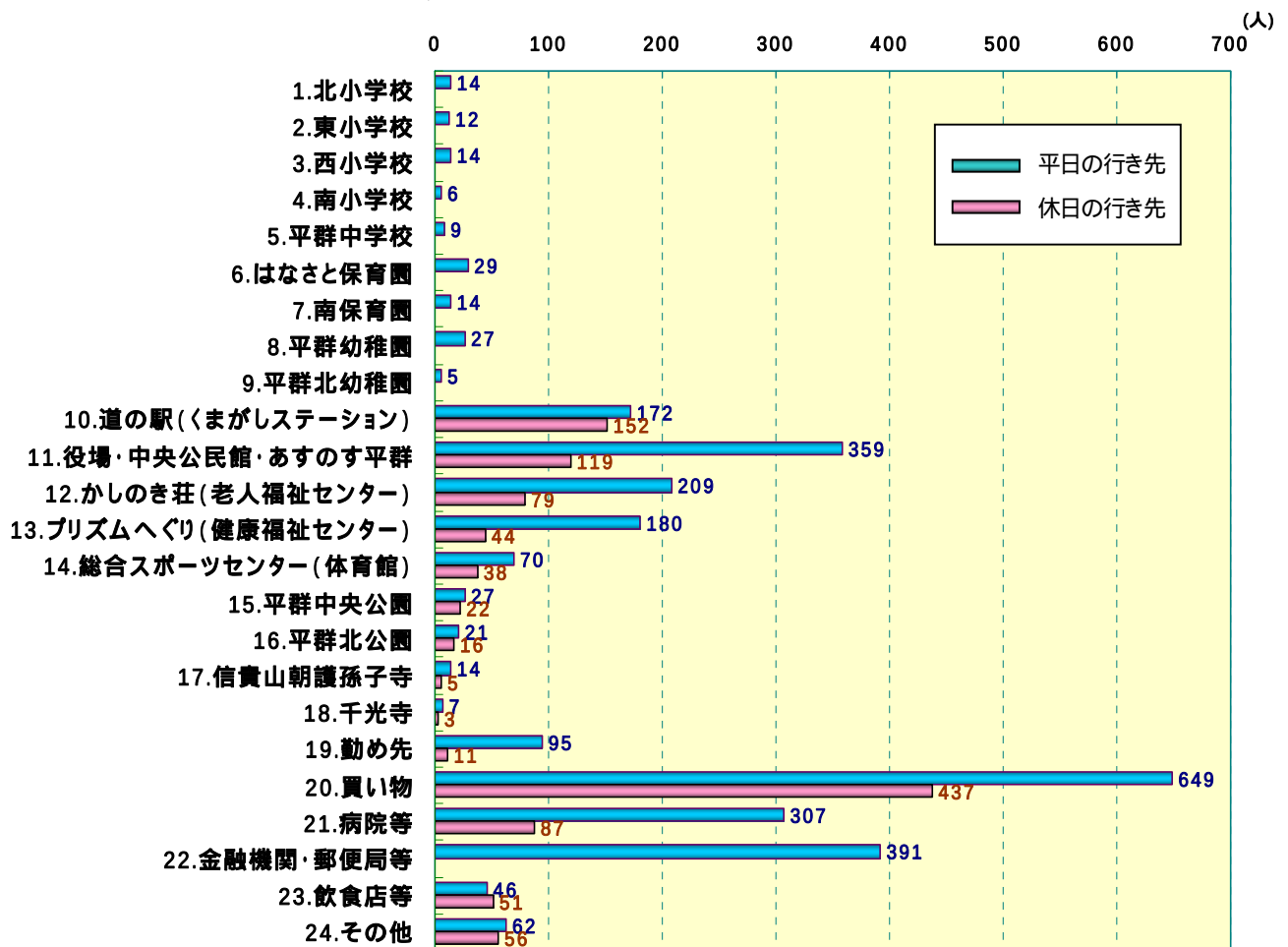
65 歳以上（高齢者）の外出頻度



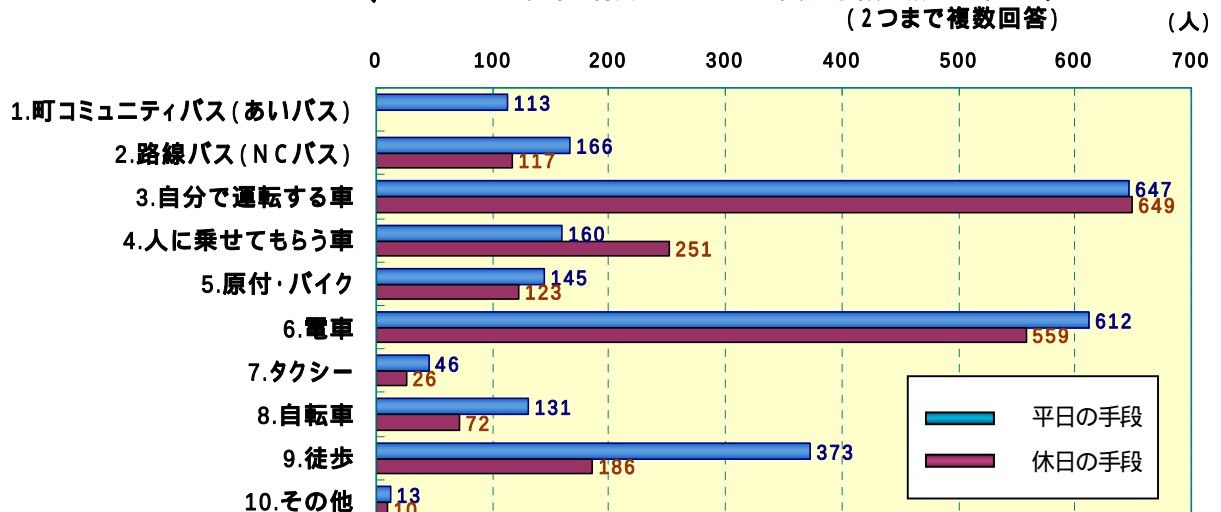
平日は買い物、金融機関・郵便局、役場周辺へ、休日は買い物での外出が多い。

- 平日の外出先では、買い物、金融機関・郵便局、役場周辺、病院等の順に多くなっている。
- 休日は買い物が最も多く、次いで道の駅が多くなっている。
- 移動手段は平日・休日ともに「自分で運転する自動車」と「電車」が多く、平日では「徒歩」、休日では「人にのせてもらう車」がそれに続く。

Q7 平群町内の主にどちらに行かれますか？(3つまで複数回答)



Q8 あなたが外出に利用している主な交通手段を教えてください。(2つまで複数回答)

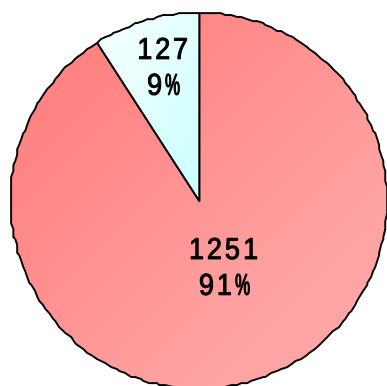


(2) コミュニティバス(あいバス)の認知度と利用状況

町コミュニティバスの認知度は91%と高いが、利用している人は少ない。

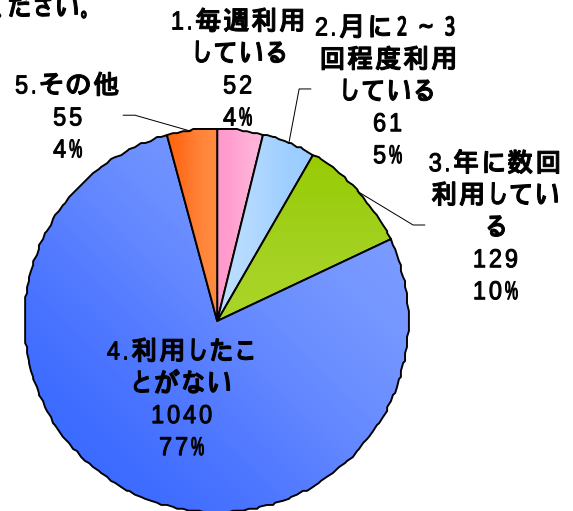
- 町コミュニティバスについては、91%が「知っていた」と回答している。
- 利用頻度については、「利用したことがない」人は79%で、「毎週利用している」「月に2～3回程度利用している」を合わせると8%である。
- コミュニティバスが運行している地域では認知度が高く、98%が「知っていた」と回答している。高齢者の認知度も93%と、全回答平均よりは高くなっている。

Q16 あなたは町コミュニティバス(あいバス)を知っていましたか。

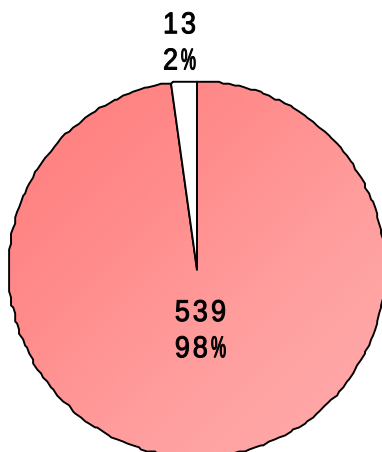


■ 1. 知っていた ■ 2. 知らなかった

Q17 あなたの町コミュニティバス利用頻度について教えてください。



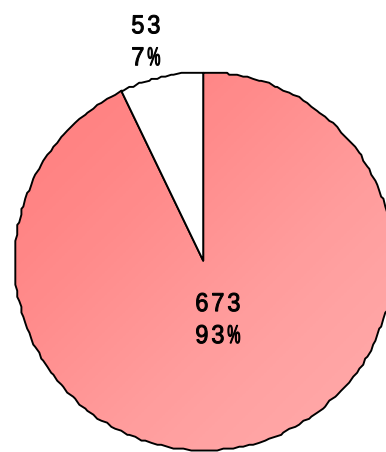
コミュニティバス運行地域での認知度



■ 1. 知っていた ■ 2. 知らなかった

「利用したことがない」60%

65歳以上(高齢者)の認知度



■ 1. 知っていた ■ 2. 知らなかった

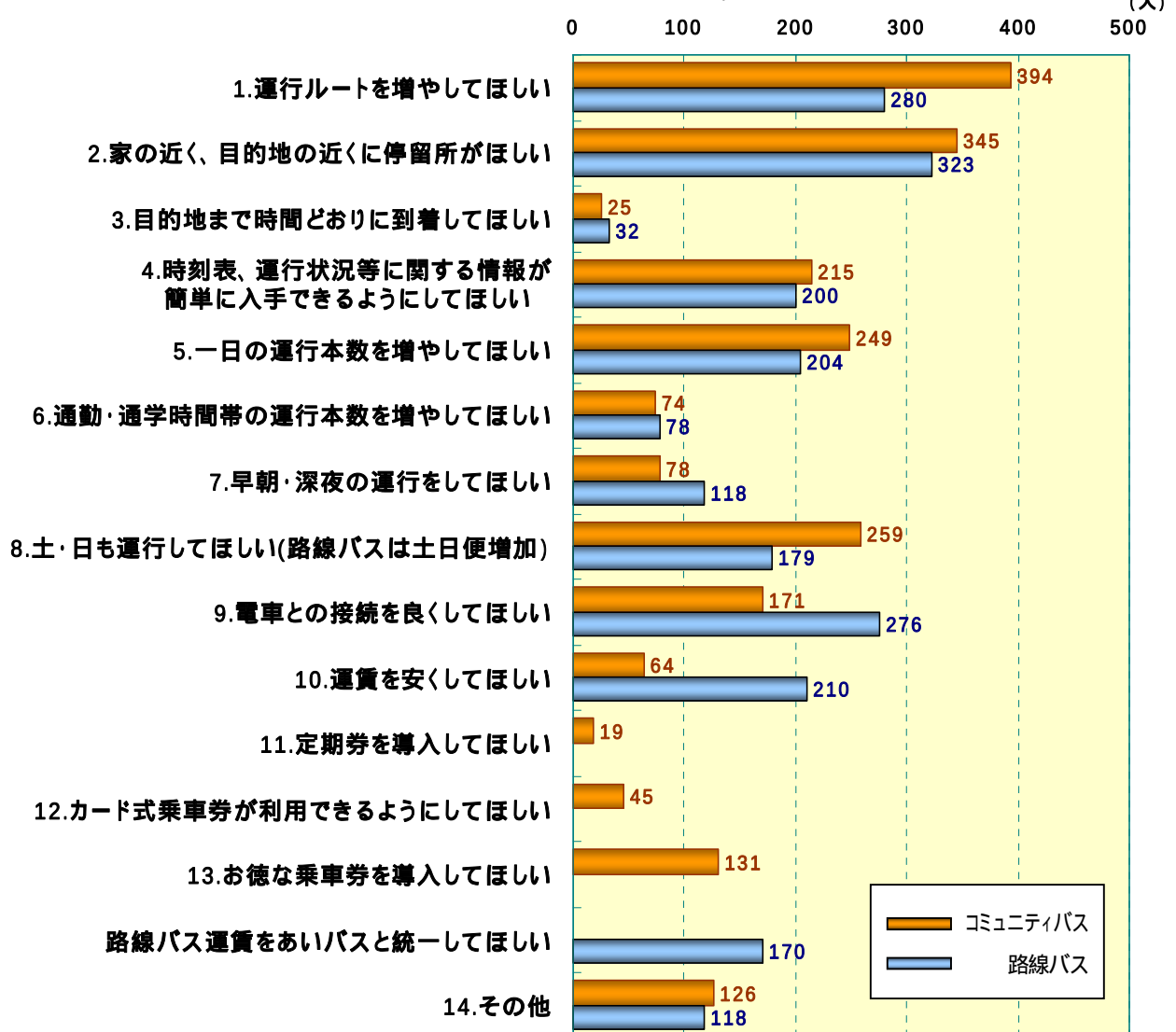
「利用したことがない」72%

(3) バス交通への要望

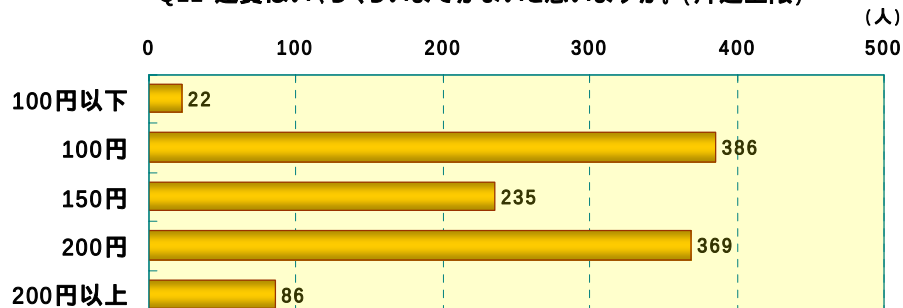
運行ルートや停留所、運行本数の増加を望む人が多い。

- 「運行ルートの追加」、「停留所の追加」への要望が最も多く、次いで「土日の運行」、「運行本数の増加」、「運行情報等の簡単な入手」が多い。路線バスについては、「電車との接続改良」への要望が多かった。
- 運賃（片道上限）については、現状と同額かそれ以下を望む意見が多い。運賃を安くして欲しいという意見は、路線バスへの要望に多い。

Q18 コミュニティバス・路線バスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(複数回答可)



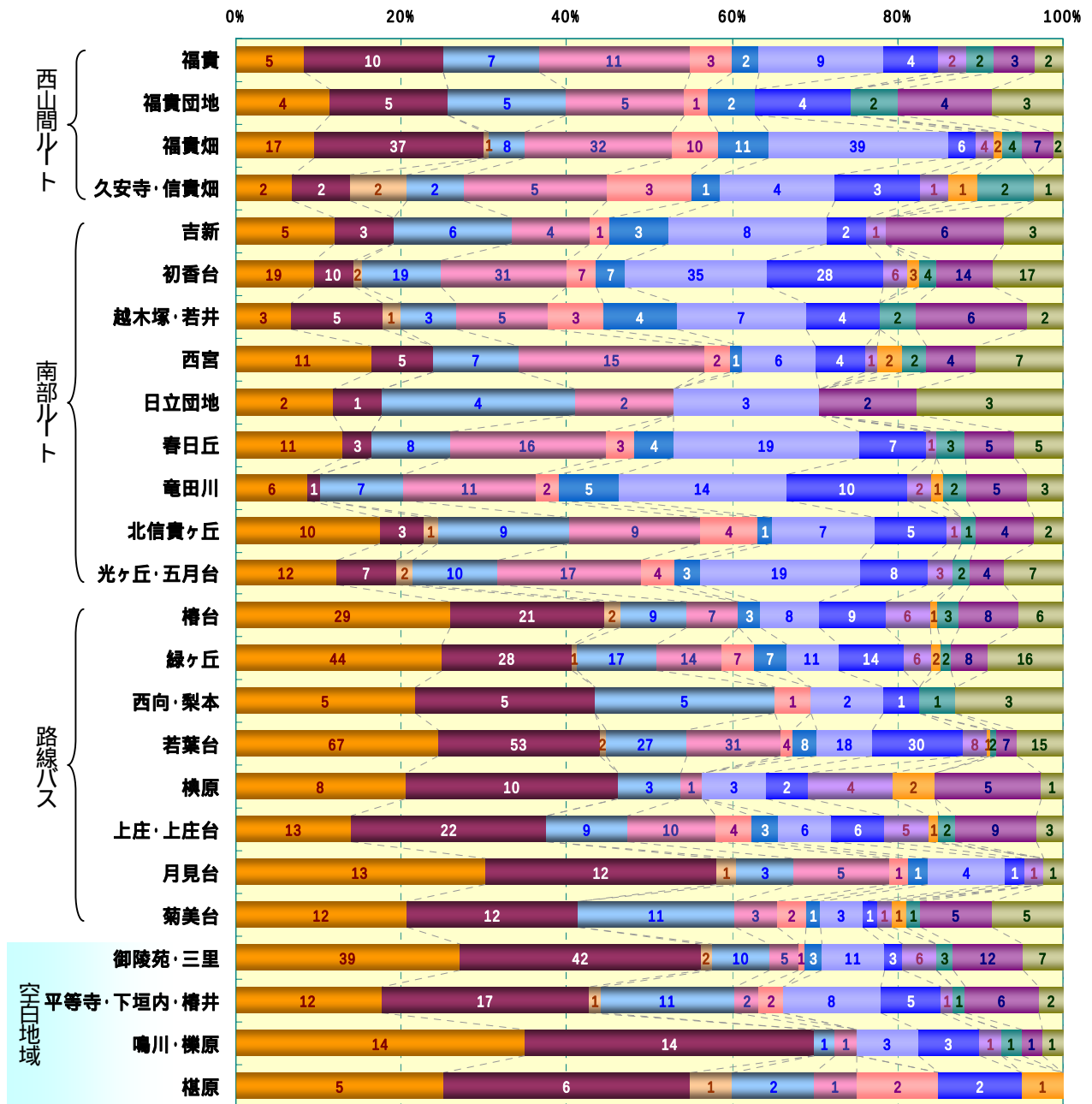
Q22 運賃はいくらぐらいまでがよいと思いますか。(片道上限)



空白地域住民からのルート・停留所の増加への改善要望が多い。

- コミュニティバス運行地区では、ルート増加、停留所増加の要望よりも、1日あたりの運行本数や土日運行への要望が多い。
- 空白地域では、ルート増加・停留所増加への要望が大きい。特に鳴川・櫛原地区での要望意見の割合が高くなっている。

Q18 あなたは町コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(複数回答可)

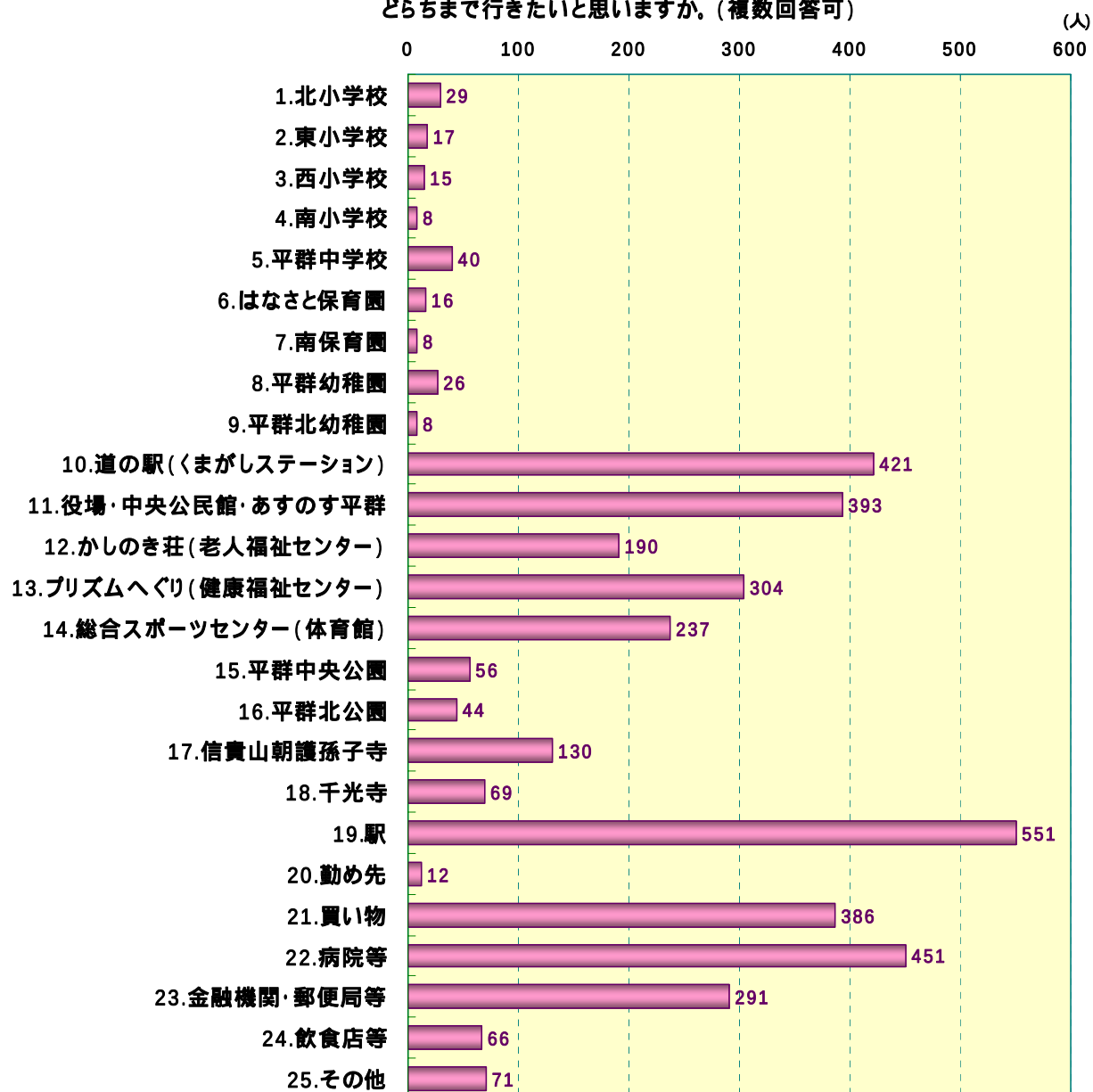


- 運行ルートを増やしてほしい
- 目的地まで時間どおりに到着してほしい
- 一日の運行本数を増やしてほしい
- 早朝・深夜の運行をしてほしい
- 電車の接続を良くしてほしい
- 定期券を導入してほしい
- お徳な乗車券を導入してほしい
- 家の近く、目的地の近くに停留所がほしい
- 時刻表、運行状況等に関する情報が簡単に入手できるようにしてほしい
- 通勤・通学時間帯の運行本数を増やしてほしい
- 土・日も運行してほしい
- 運賃を安くしてほしい
- カード式乗車券が利用できるようにしてほしい
- その他

駅、病院、道の駅、町役場周辺へ行きたいという回答が多い。

- 近鉄の駅としては、平群駅以外に東山駅・元山上口駅へ行きたいという回答が多い。
- 日常の「外出先」とほぼ同様の傾向が出ているが、病院や各公共施設への要望の割合は、「外出先」よりも大きくなっている。
- 「買い物」「飲食店」の具体名称としては、平群バイパス沿いの施設名も多くあげられている。

Q21 あなたは町コミュニティバス(あいバス)、路線バス(NCバス)が使えるならば、
どちらまで行きたいと思いますか。(複数回答可)



■ヒアリング調査結果（バス利用者・バス非利用者）の概要

1．ヒアリング調査の目的

町コミュニティバスを実際に利用している人、利用していない人に対してコミュニティバスへの意見・要望等を聞き、総合連携計画に対する参考資料とすることを目的とした。

2．実施概要

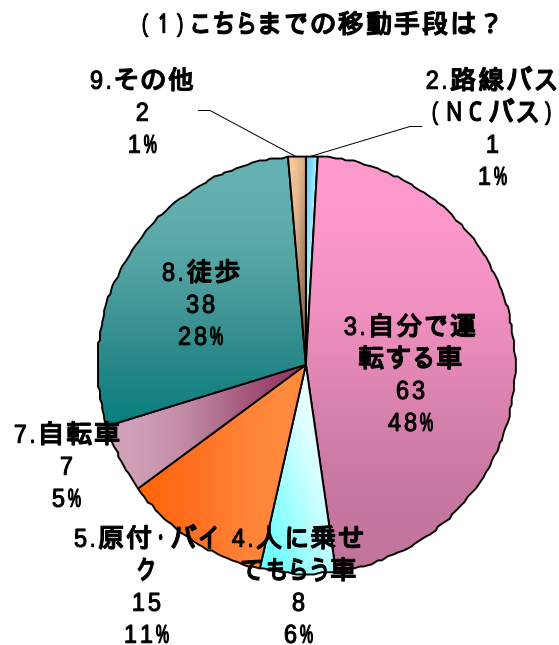
対 象	コミュニティバス利用者	バス非利用者
実施日時	平成 22 年 9 月 24 日（金） 7:50～16:30	平成 22 年 9 月 24 日（金） 9:00～14:30
実施方法	南部ルート、西山間ルートのコミュニティバスに調査員がそれぞれ 1 名乗車し、乗客に対して聞き取り調査を実施	コミュニティバスルート上の公共施設（役場、中央公民館、かしのき荘、プリズムへぐり）にて、調査員を配置し、来訪者に対して聞き取り調査を実施
回答数	南部ルート：32 票 西山間ルート：10 票	役場：27 票 中央公民館：64 票 かしのき荘：23 票 プリズムへぐり：25 票
回答者属性等	○南部ルート ・女性 85%、男性 15% ・60 歳代以上が 70% ・主な利用目的は、買い物、病院、用事 ○西山間ルート ・女性 82%、男性 18% ・60 歳代以上が 73% ・主な利用目的は、病院、用事の他、小中学生の通学	・性別：女性 71%、男性 29% ・年齢：50 歳代以上が 93% ・移動手段は、自分で運転する車（48%）、徒歩（28%）が多い
備 考	■乗降客数 ○南部ルート：50 人（往復利用者については調査は 1 回のみとした） ○西山間ルート：50 人（うち小中学生の利用 35 人）	

3. ヒアリング調査結果の概要

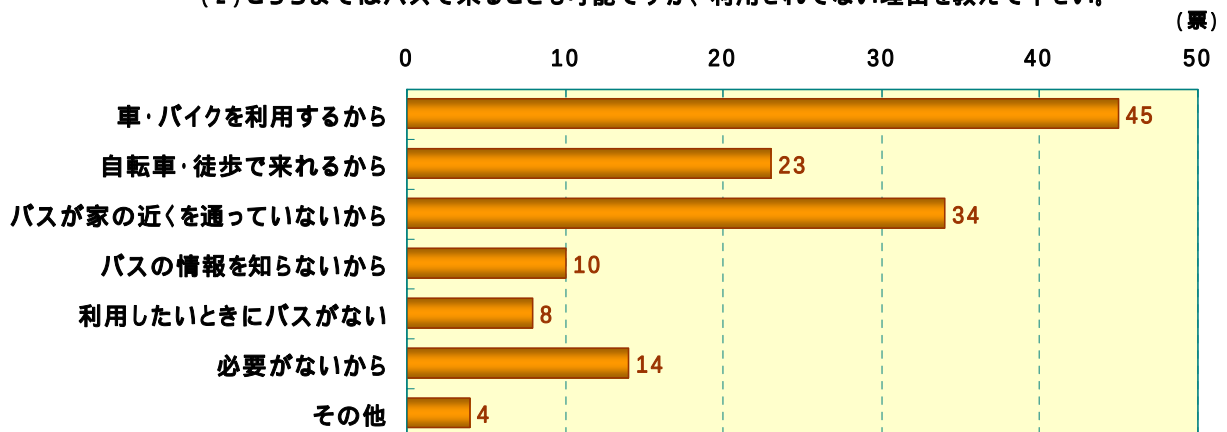
(1) コミュニティバスを利用しない理由

自分で運転する自動車やバイク等を利用するから、という回答が多い

- 自分で運転する車で移動する人が約半数の48%、健康のために「徒歩」「自転車」と回答される人も多かった。
- バスが家の近くを通らないという人は、34人(134人中)であった。



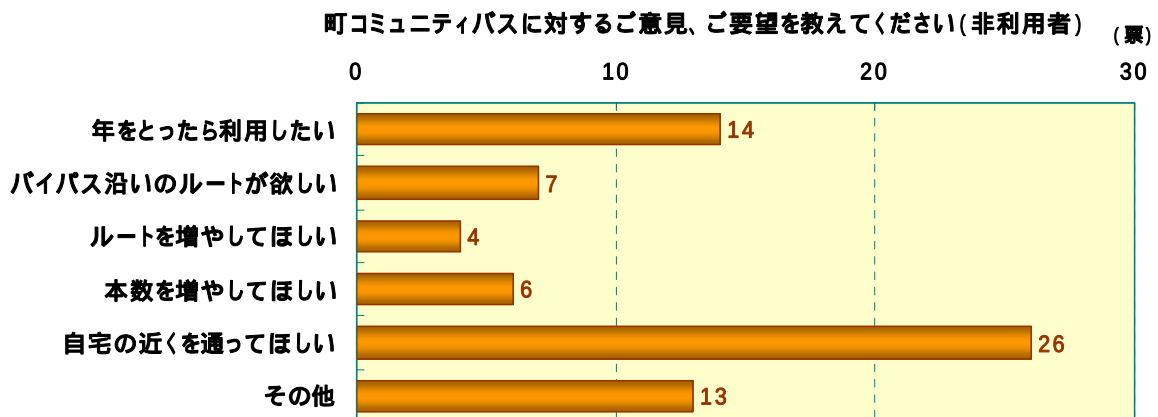
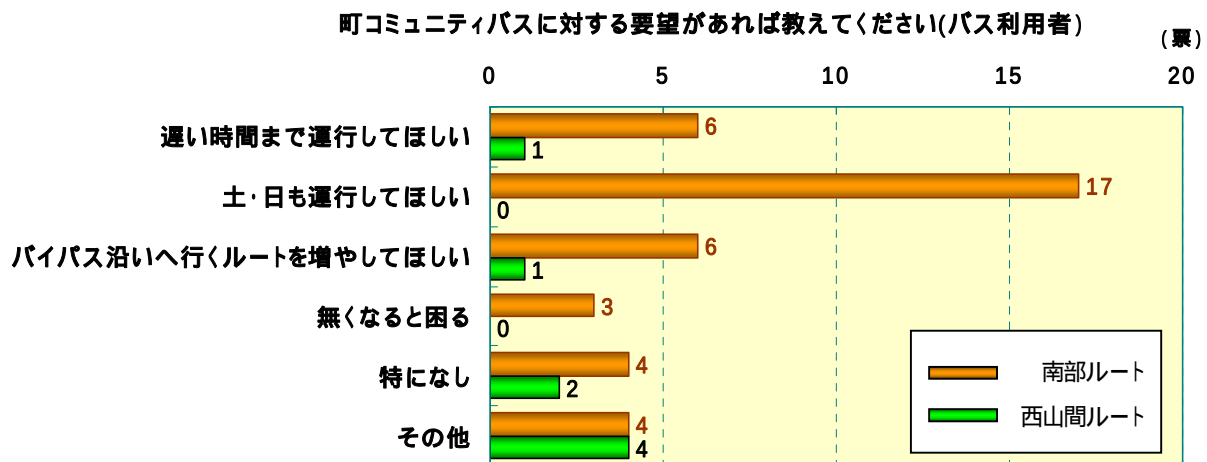
(2) こちらのバスで来ることも可能ですが、利用されてない理由を教えてください。



(2) コミュニティバスに対する要望

利用者は運行の充実、非利用者はルートと将来的な運行への要望が多い。

- 西山間ルート利用者からは特に大きな要望は出なかったが、南部ルート利用者からは「土日運行」「運行時間延長」「バイパスへのルート」への要望があった。
- 非利用者からは、自宅付近を通るルートや停留所の増加の要望が多かったが、高齢になって自動車等に乗れなくなった時の足として、将来は利用したいという声が多かった。
- 非利用者のその他要望としては、以下のような意見がある。
 - 平群町は坂道が多いのでバスはあったほうがよい
 - 無料なら利用する
 - 利用者が少ないのに税金の無駄だ
 - もっと奥地の方まで行ってほしい(路線バスも含め)
 - 停留所を増す、フリー乗降にするなど、使いやすくしてほしい



■ヒアリング調査結果（観光客）の概要

1．ヒアリング調査の目的

平群町の主要な観光施設である信貴山・千光寺への来訪者に対し、直接意見・要望等を聞き、総合連携計画に対する参考資料とすることを目的とした。

2．実施概要

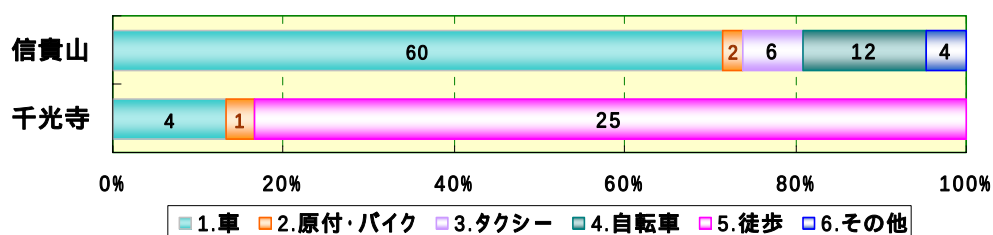
実施場所	信貴山朝護孫子寺	千光寺
実施日時	平成 22 年 9 月 26 日（日） 9:00～15:00	
回答数	87 票	30 票
回答者属性等	・平群町外からの来訪者は 99% ・移動手段は、車（70%）、バス（14%） ・利用目的は、参詣（87%）が多い	・平群町外からの来訪者は 87% ・移動手段は、徒歩（84%）、車（13%） ・利用目的はハイキング（53%）が多い
備考	・主な立ち寄り先は、法隆寺、生駒スカイライン	・千光寺は、生駒周辺のハイキングコースとして利用者が多い

3. ヒアリング調査結果の概要

信貴山はドライブ、千光寺はハイキングでの来訪者が多く、現時点でのバスのニーズはそれほど高くない。

- 信貴山への来訪者は、生駒スカイラインや法隆寺等へのドライブコースとして立ち寄った人も多く、70%以上の人が車を利用している。バスで来訪した人は、信貴山下駅（三郷町）から出ている信貴山朝護孫子寺行きバスを利用している。
- 千光寺は修験道の霊場として著名で、ハイキングコースの目的地として訪れている人が多い。
- バスがあれば利用すると回答した人は、どちらも約35%であった。

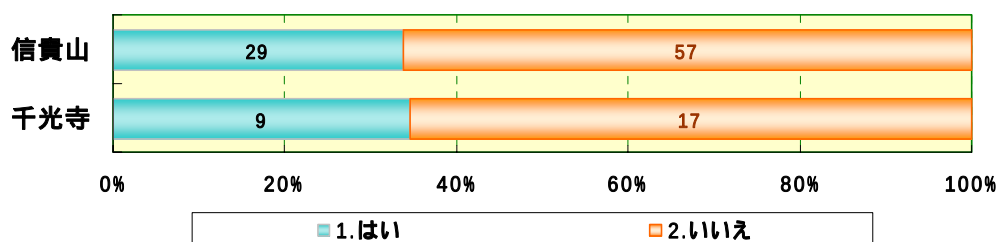
移動手段



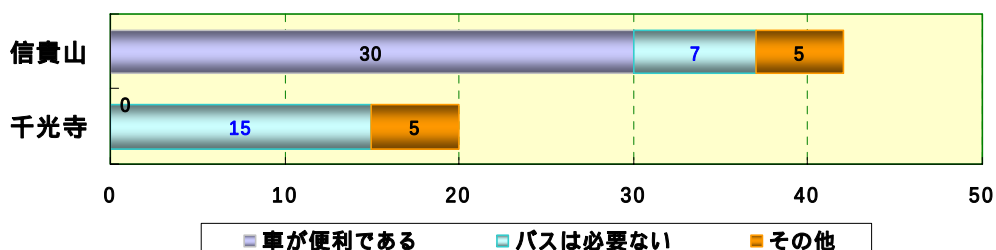
来訪目的



平群町の駅バスで来られるようになったら利用したいと思いますか



「バスを利用しない」理由



■平群町公共交通の課題

平群町の現況とアンケート調査、ヒアリング調査の結果から、公共交通の課題を以下の視点で整理する。

視点1 高齢者や学童の日常生活の移動手段を確保する

地域福祉の観点から、交通手段を持たない高齢者や、遠方からも安全な通学手段を確保すべき学童に対して、必要な移動手段を提供することが必要である

視点2 町内の交通空白地帯を解消する

現状での公共交通空白地帯（次ページ図参照）において、住民ニーズを踏まえた需要予測や多様な手法の検討等により、必要な対策を講じることが求められる

視点3 新たなまちづくりに向けて住民ニーズに対応する交通サービスを構築する

平群バイパス沿道での大規模店舗立地や、平群駅前整備など、町のすがたが大きく変わろうとするなか、まちづくりのありかたと合わせた交通サービス・システムの検討が必要である

視点4 住民の貴重な足である「あいバス」と路線バスを維持する

公共交通サービスの維持・向上のためには、利用者数を増やすことが重要であり、様々な利用促進策を講じる必要がある



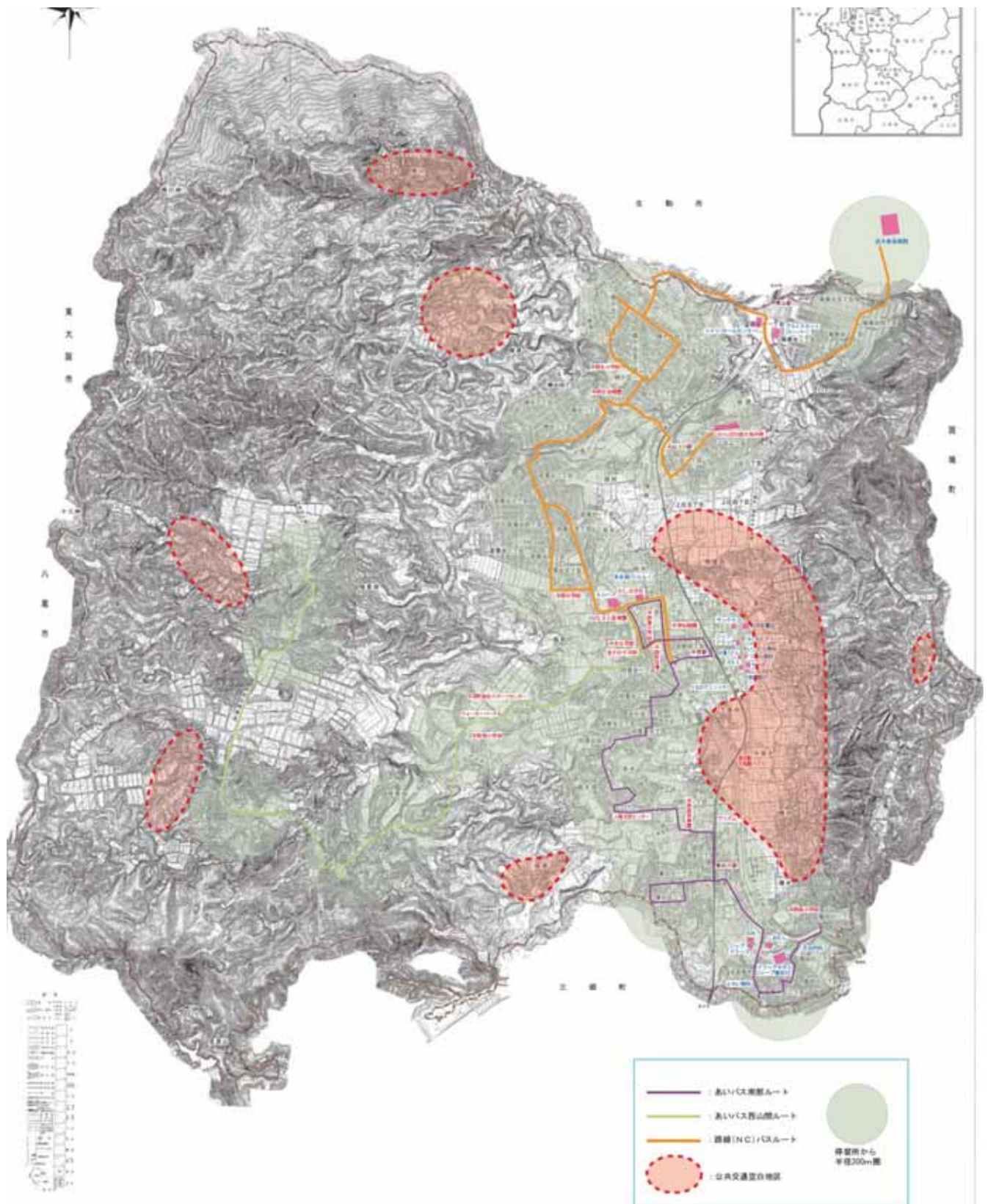
バスルートに係る課題 ～ルートの見直し・変更・新設～

バス運行システムに係る課題 ～ダイヤ、運行計画・日程等～

利用サービスに係る課題 ～情報提供、利用促進の取り組み等～

事業者連携に係る課題 ～乗り継ぎしやすさ、料金設定等～

【公共交通の現況と交通空白地域】



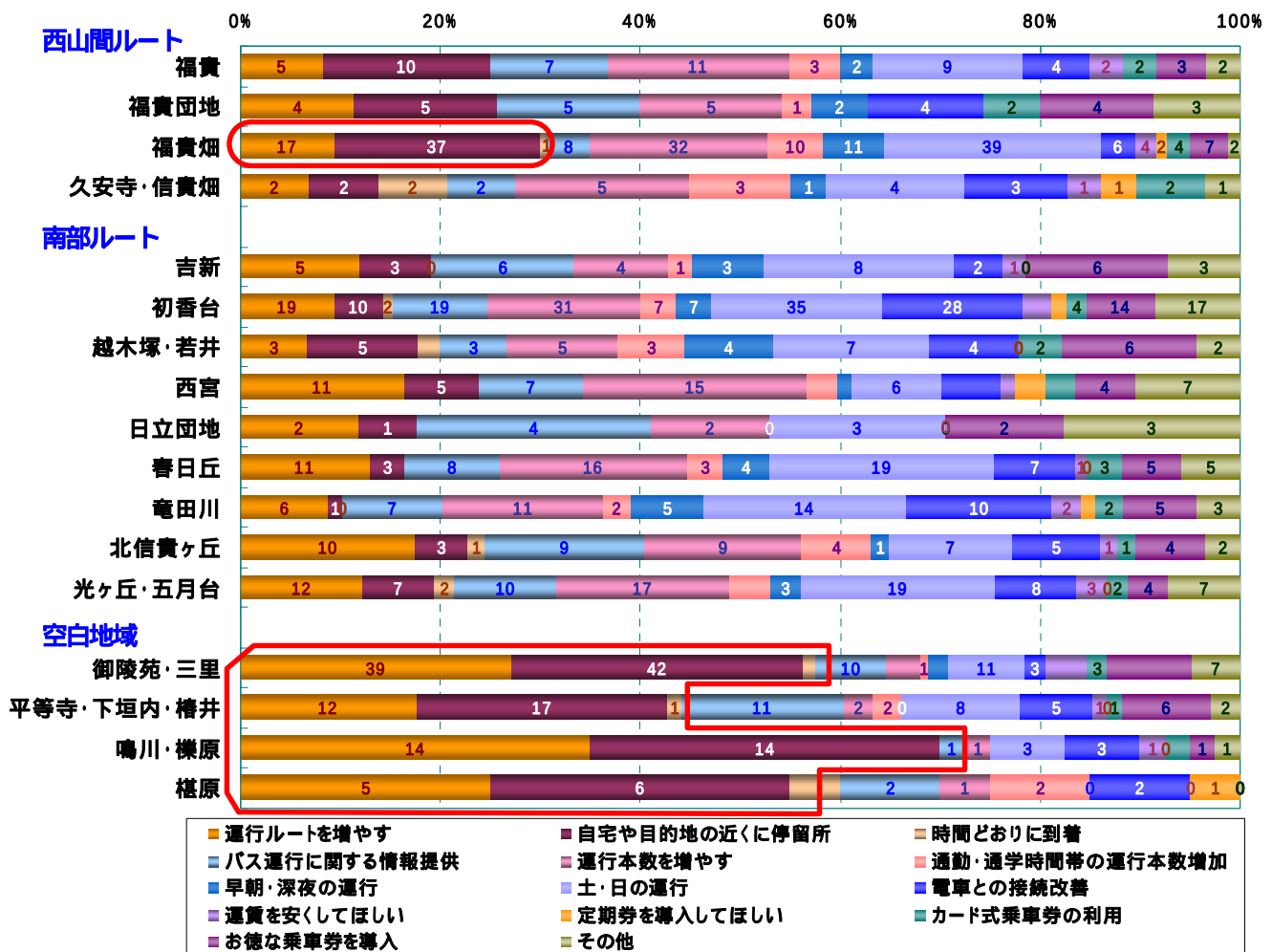
バスルートに係る課題 ～ルートの見直し・変更・新設～

【バスルートに係る課題 1】

公共交通空白地域の解消に向けたルートの設定（新設・延伸）が必要です。

- コミュニティバスへの改善に関する回答を地域別にみると、空白地域への運行ニーズが大きい。特に御陵苑・三里地区は約 450 世帯の集積する地域であり、回答数も多くなっている。
- 鳴川・櫛原地区は、町内で最も公共交通利用が不便な地域であるとともに高齢化率も高い。西山間ルートの延伸等により、住民の足を確保するための対策が必要である。
- 西山間ルートが運行する地区でも、停留所徒歩圏域から外れる福貴畑地区からの要望も高い。福貴・福貴畑地区は周辺地区と比較して児童数も多いため、住民の要望に応えることのできるルートの見直し等が必要である。

町コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。（複数回答可）

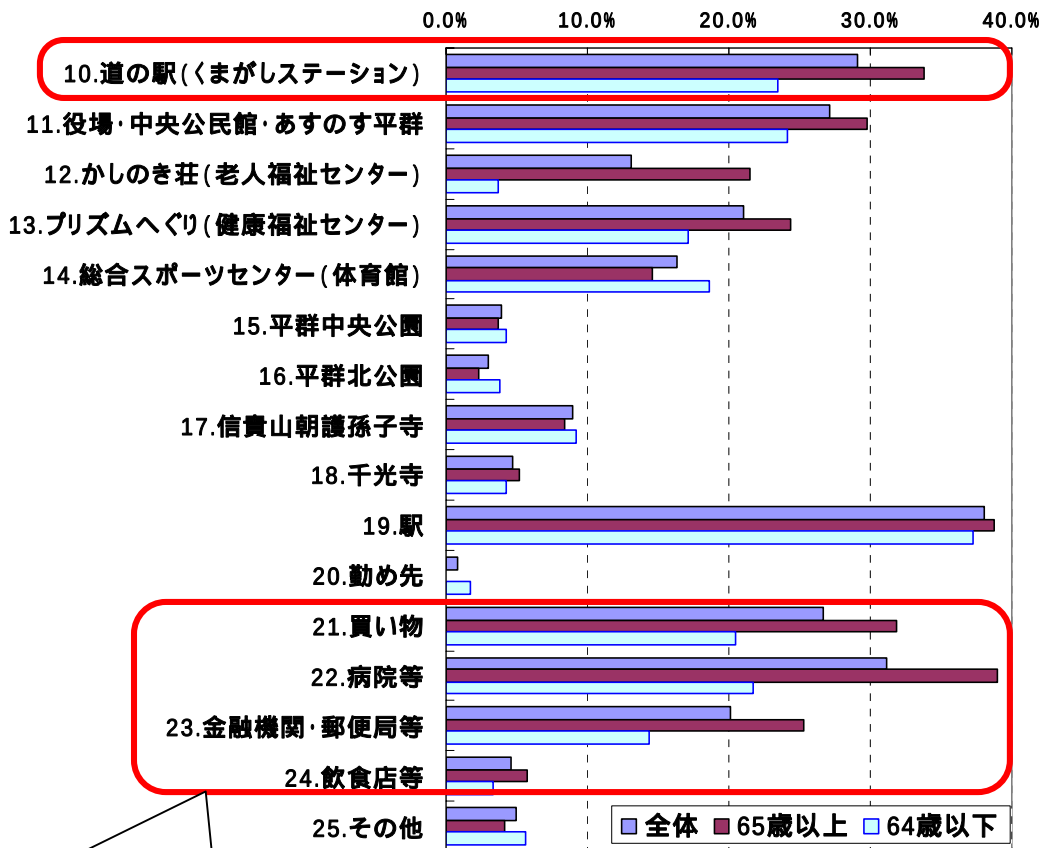


【バスルートに係る課題 2】

生活利便性向上に向けた、新たな住民ニーズに対応するルートの設定が必要です。

- 現状のバスルートは、町内の集落や住宅団地と鉄道駅、および主要公共施設を結んでいる。アンケートで住民がバスで行きたいと回答があった目的地も、現状のバスルート上にある施設が多い。
- 一方、平群バイパス沿道に立地する商業・業務施設や、町内外の交流拠点である道の駅「くまがしステーション」などへの訪問ニーズが高まっており、これらの要望への対応を検討する必要がある。

あなたは町コミュニティバス（あいバス）路線バス（NCバス）が使えるならば、
どちらまで行きたいと思いますか。（抜粋）



飲食店、金融機関では、平群バイパス沿道の店名が多くあげられている。

「病院」としては「近大病院（近畿大学医学部奈良病院）」との回答が最も多いが、平群バイパス沿道に集積する医療施設・薬局等への利用も増加することが予想される。

バス運行システムに係る課題 ～ダイヤ、運行計画・日程等～

バス運行時間の延長（早朝・夜間） 土日運行の取り組み検討が必要です。

- バスの運行については、路線バス・コミュニティバスともに「一日の運行本数増加」「土日運行・土日増便」へのニーズが高いことから、バス需要予測や収支計算と合わせて、運行計画の拡大を検討する必要がある。
- コミュニティバス運行ルート別のニーズをみると、南部ルート運行エリアの住民から要望が特に多いことから、南部ルートの見直しと合わせた検討が必要である。
- 一方、「休日の行き先」で最も多い回答は「買い物」だったが、バスで行きたいところとしての回答はそれほど多くなく、病院や役場など平日対応の施設への回答のほうが多かった。

バスで行きたいところ
上位5箇所

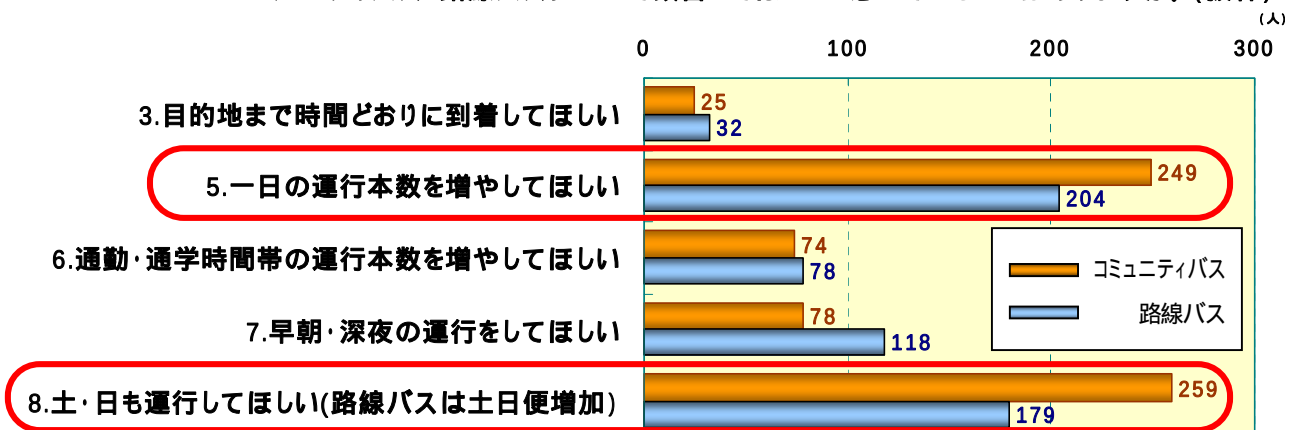
【65歳以上】

1. 病院等
2. 駅
3. 道の駅
4. 買い物
5. 役場周辺公共施設

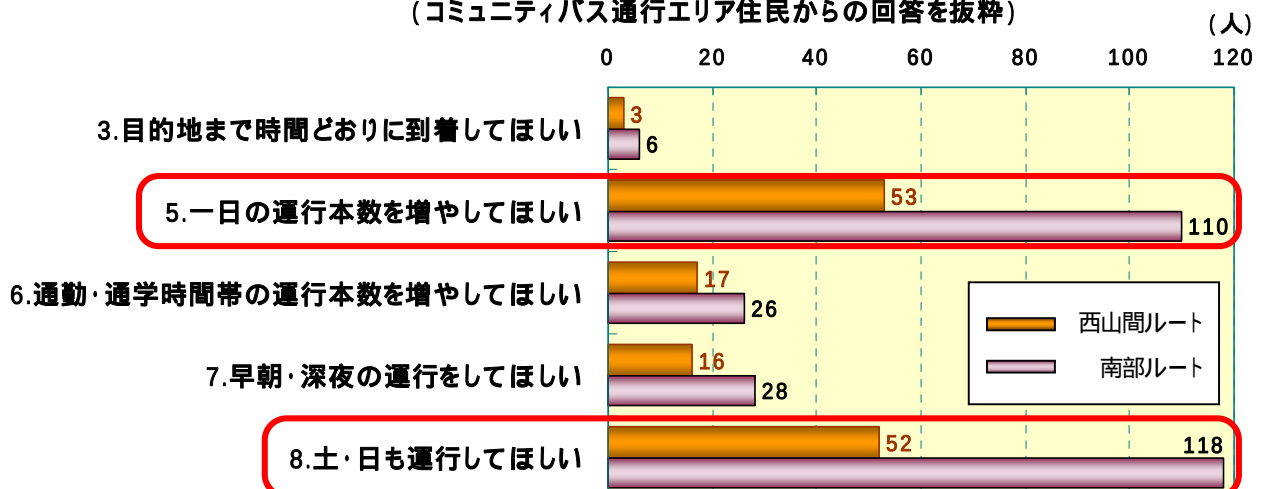
【64歳以下】

1. 駅
2. 役場周辺公共施設
3. 道の駅
4. 病院等
5. 買い物

コミュニティバス・路線バスについて改善してほしいと思っていることはありますか。（抜粋）



町コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。
(コミュニティバス通行エリア住民からの回答を抜粋)

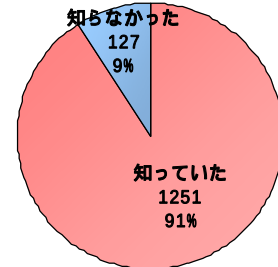


利用サービスに係る課題 ～情報提供、利用促進の取り組み等～

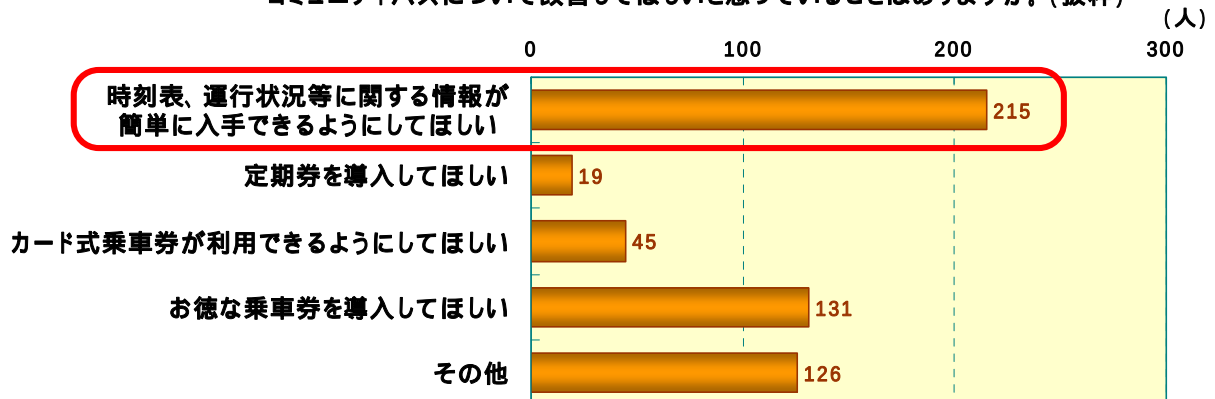
公共交通の利用促進に向けて、積極的な情報やサービスの提供が必要です。

- コミュニティバスの認知度は高いものの、利用者がそれほど増加していないことから、高齢者以外の住民の利用促進を図ることが必要である。
- コミュニティバスは知っていても、ルートや時刻表の情報が入手しにくい状況があることから、積極的な情報提供を図る必要がある。
- その他、全国の先進事例の利用促進方策を参考に、平群町に合った取り組みを検討することが課題である。

コミュニティバス(あいバス)の認知度



コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(抜粋)



【参 考】

豊岡市の公共交通情報誌

バス路線図、時刻表、料金表の他、電車や駐車場、タクシー等についてもこの1冊で情報入手できる



他地域での情報提供・利用促進の取り組み

社会実験やイベント、割引等のサービスと合わせて、効果的かつ積極的な情報発信に取り組む団体も多い

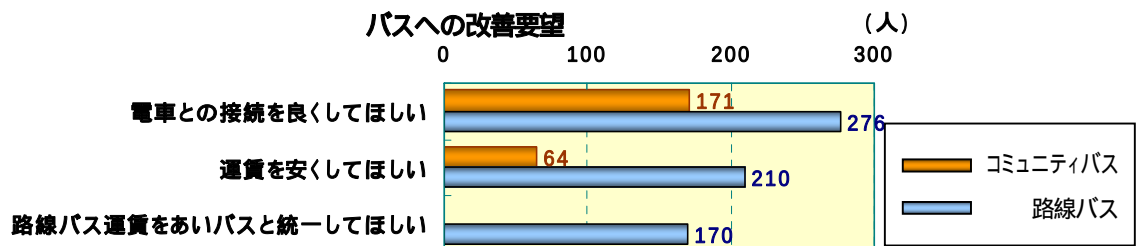
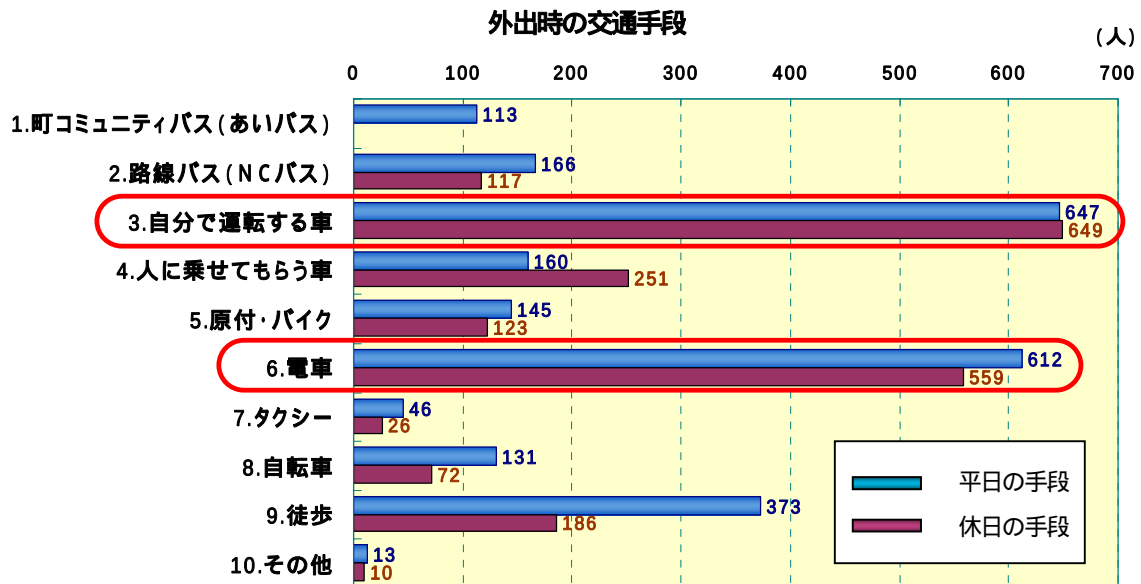


左) WEB での情報発信を効果的に行うことにより、地域外からの来訪者へ情報を提供している例(熊本県)

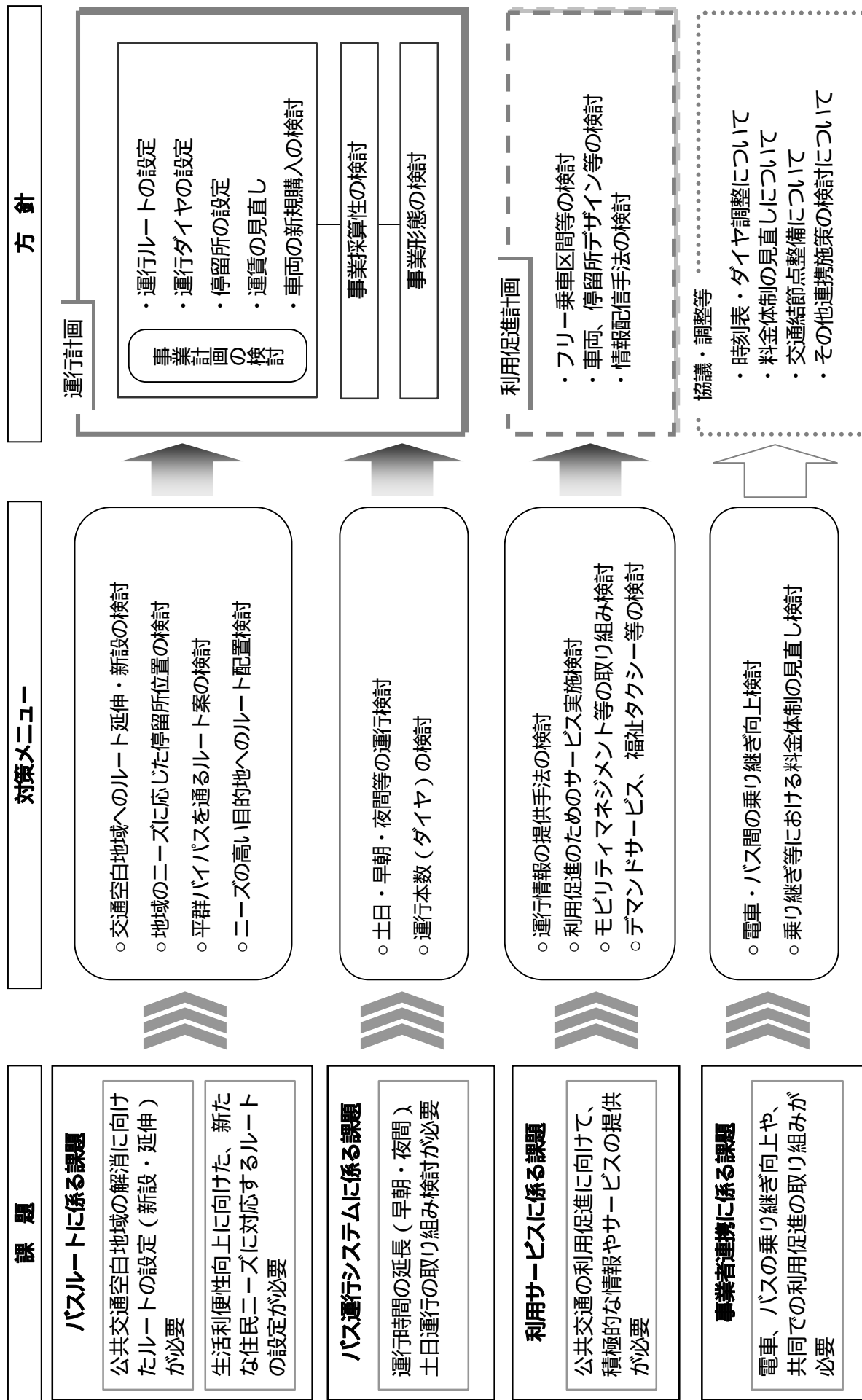
事業者連携に係る課題 ～乗り継ぎしやすさ、料金設定等～

電車、路線バス、コミュニティバスの乗り継ぎ向上や、共同での利用促進の取り組みが必要です。

- 外出時の交通手段では自家用車、電車の利用が最も多く、「電車との接続を良くしてほしい」という要望も多いことから、地域内交通機関の連携が課題となっている。
- 自動車利用者が最も多いことから、パーク＆ライド・パーク＆バスライド等の取り組みについても検討する必要がある。
- 町の公共交通が連携して利用促進を図るために、住民や来訪者が利用しやすい料金体系・サービス等を検討する必要がある。



■ 平群町公共交通の課題と対策方針



■運行計画（案）

1. 基本方針

平群町内の公共交通に関する「現状の課題に対する運行計画（案）」を検討するにあたっては、以下の基本方針を念頭に置いて行う。

【公共交通の見直し目的】

- ・公共交通空白地区の解消
- ・国道 168 号バイパス沿道の大規模店舗等への交通確保

【検討にあたっての留意点】

- ・路線バス（NCバス）に、極力影響を与えない
- ・ルート検討にあたっては、安全性が確保されていること

2. 課題への対応方針

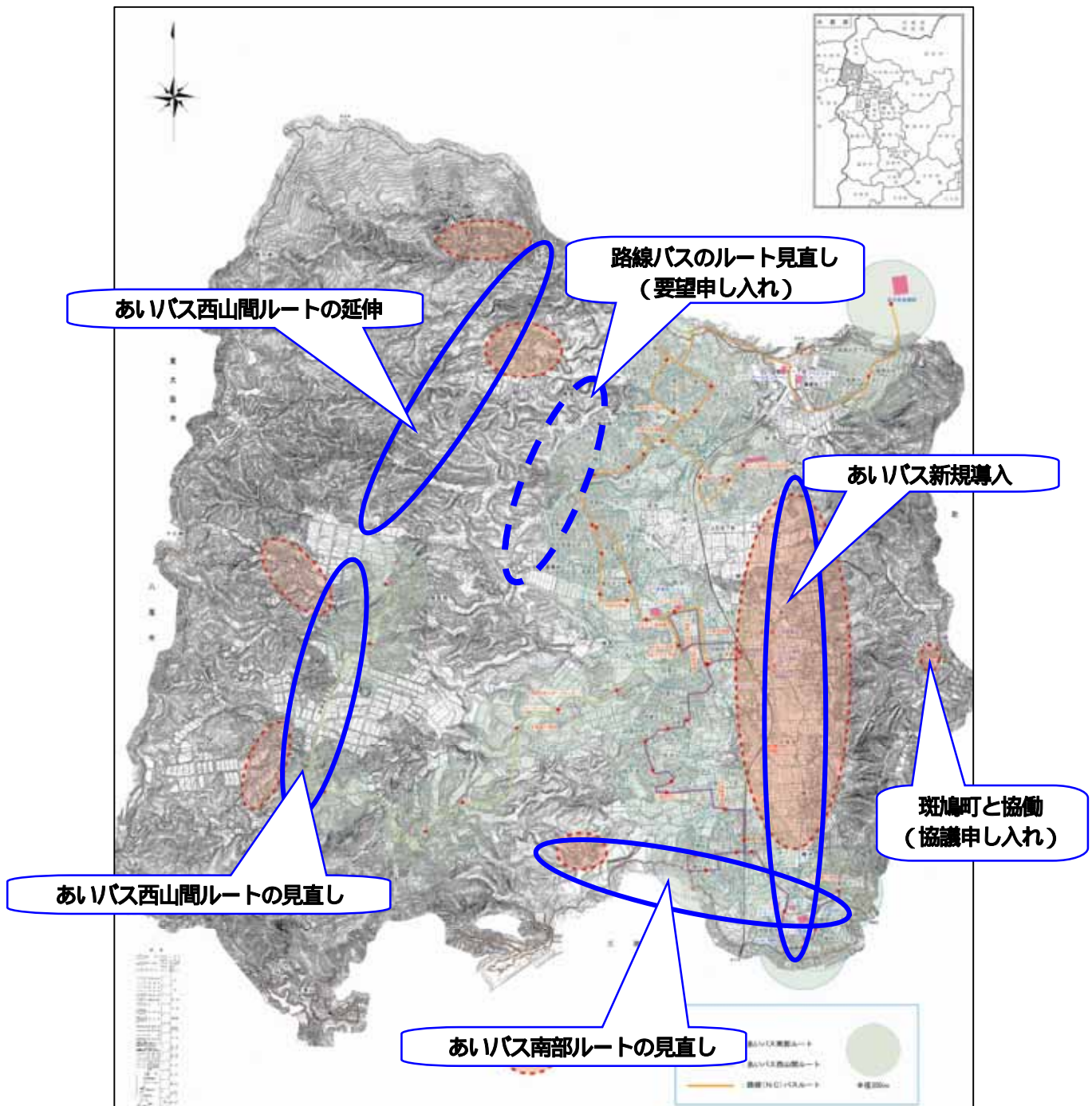


図 課題への対応方針

3. コミュニティバスの具体的対応

- (1) 運行経路、バス停留所位置見直し(案)
基本方針に基づいた、あいバスの運行経路およびバス停留所の見直し案を下図のとおりである。

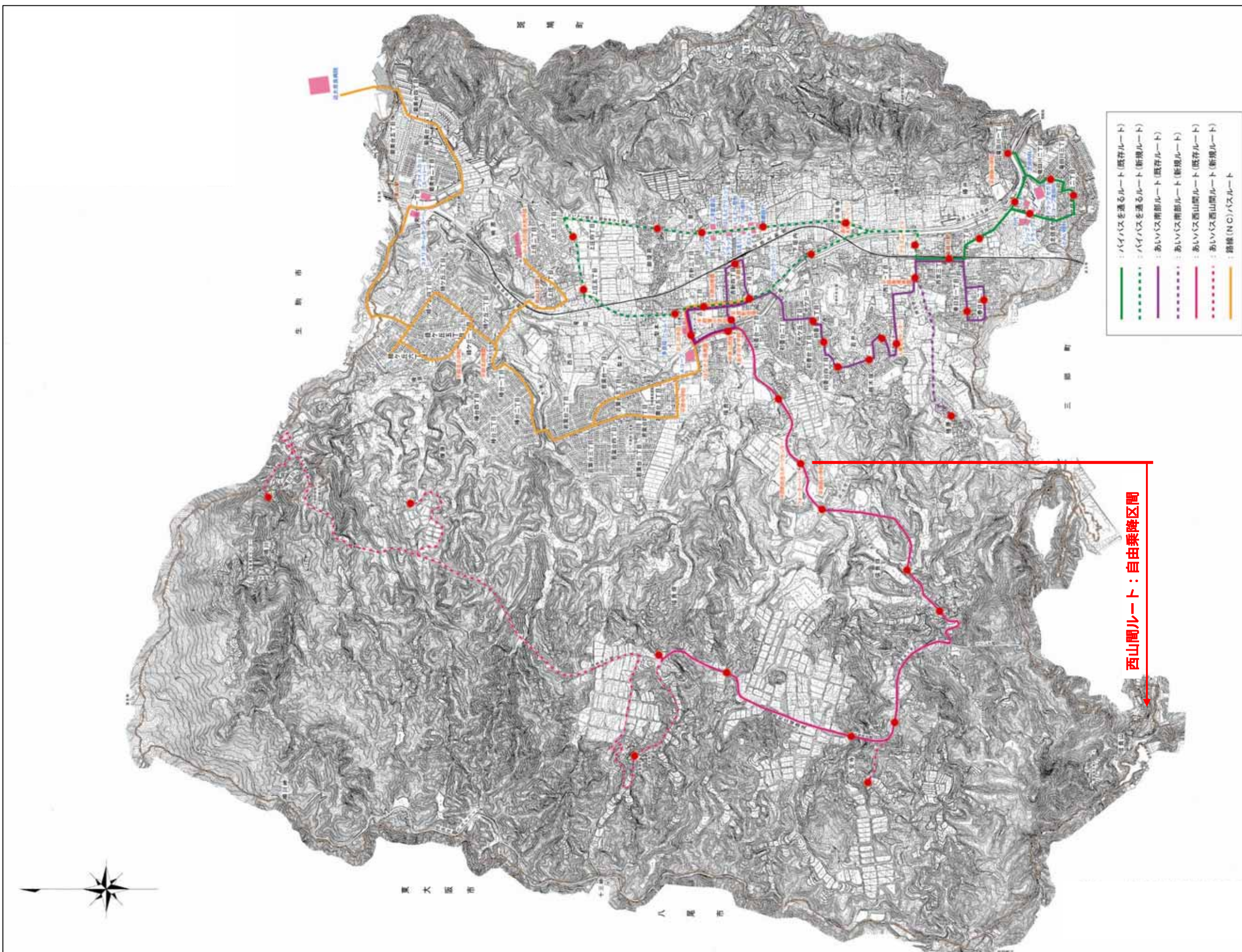


図 あいバス運行経路見直し(案)

(2) 運行ダイヤ(案)
西山間ルート

		上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	下り
		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
1	吉新商店街	8:16	8:40	10:17	10:40	12:17	13:00	14:37	15:00	15:50
2	老人福祉センター前	8:13	8:43	10:14	10:43	12:14	13:03	14:34	15:03	15:53
3	中央公民館前	8:12	8:44	10:13	10:44	12:13	13:04	14:33	15:04	15:54
4	大津門池	8:11	8:45	10:12	10:45	12:12	13:05	14:32	15:05	15:55
5	総合スポーツセンター	8:10	8:46	10:11	10:46	12:11	13:06	14:31	15:06	15:56
6	西小学校	8:09	8:47	10:10	10:47	12:10	13:07	14:30	15:07	15:57
6	信貴畑待合所	8:06	8:50	10:07	10:50	12:07	13:10	14:27	15:10	16:00
7	信貴畑集落センター	8:05	8:51	10:06	10:51	12:06	13:11	14:26	15:11	16:01
8	久安寺久保入口	8:02	8:54	10:03	10:54	12:03	13:14	14:23	15:14	16:04
9	久安寺公民館	7:57	8:59	9:58	10:59	11:58	13:19	14:18	15:19	16:09
10	久安寺北垣内入口	7:52	9:04	9:53	11:04	11:53	13:24	14:13	15:24	16:14
11	福貴畑大石橋下	7:51	9:05	9:52	11:05	11:52	13:25	14:12	15:25	16:15
12	福貴畑集落センター	7:50	9:06	9:51	11:06	11:51	13:26	14:11	15:26	16:16
13	福貴畑(杵築神社前)		9:07	9:50	11:07	11:50	13:27	14:10		16:17
14	櫛原入口		9:12	9:45	11:12	11:45	13:32	14:05		16:22
15	鳴川入口		9:17	9:40	11:17	11:40	13:37	14:00		16:27

: 始発停留所

1 便始発時間：現行どおり

南部ルート

		1便		2便		3便		4便		5便		6便		7便		8便
		上り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り
1	平群町役場		8:51	9:15	10:01	10:20	11:06	11:30	12:16	13:00	13:46	14:10	14:56	15:20	16:06	16:06
2	中央公民館前		8:50	9:16	10:00	10:21	11:05	11:31	12:15	13:01	13:45	14:11	14:55	15:21	16:05	16:07
3	老人福祉センター前		8:49	9:17	9:59	10:22	11:04	11:32	12:14	13:02	13:44	14:12	14:54	15:22	16:04	16:08
4	東小学校前		8:48	9:18	9:58	10:23	11:03	11:33	12:13	13:03	13:43	14:13	14:53	15:23	16:03	16:09
5	南都銀行前		8:47	9:19	9:57	10:24	11:02	11:34	12:12	13:04	13:42	14:14	14:52	15:24	16:02	16:10
6	平群駅		8:46	9:20	9:56	10:25	11:01	11:35	12:11	13:05	13:41	14:15	14:51	15:25	16:01	16:11
7	森脇橋		8:44	9:22	9:54	10:27	10:59	11:37	12:09	13:07	13:39	14:17	14:49	15:27	15:59	16:13
8	光ヶ丘2丁目		8:43	9:23	9:53	10:28	10:58	11:38	12:08	13:08	13:38	14:18	14:48	15:28	15:58	16:14
9	初香台1号公園		8:42	9:24	9:52	10:29	10:57	11:39	12:07	13:09	13:37	14:19	14:47	15:29	15:57	16:15
10	初香台4丁目		8:41	9:25	9:51	10:30	10:56	11:40	12:06	13:10	13:36	14:20	14:46	15:30	15:56	16:16
11	若井若葉湯東		8:40	9:26	9:50	10:31	10:55	11:41	12:05	13:11	13:35	14:21	14:45	15:31	15:55	16:17
12	若井2号公園南		8:39	9:27	9:49	10:32	10:54	11:42	12:04	13:12	13:34	14:22	14:44	15:32	15:54	16:18
13	平群町人権交流センター		8:38	9:28	9:48	10:33	10:53	11:43	12:03	13:13	13:33	14:23	14:43	15:33	15:53	16:19
14	南保育園前		8:37	9:29	9:47	10:34	10:52	11:44	12:02	13:14	13:32	14:24	14:42	15:34	15:52	16:20
15	櫛原入口		8:35	9:31	9:45	10:36	10:50	11:46	12:00	13:16	13:30	14:26	14:40	15:36	15:50	16:22
16	竜田川駅西側		8:32	9:34	9:42	10:39	10:47	11:49	11:57	13:19	13:27	14:29	14:37	15:39	15:47	16:25
17	竜田川駅前	8:25	8:31	9:35	9:41	10:40	10:46	11:50	11:56	13:20	13:26	14:30	14:36	15:40	15:46	16:26
18	春日丘中五条通北	8:26	8:30	9:36	9:40	10:41	10:45	11:51	11:55	13:21	13:25	14:31	14:35	15:41	15:45	16:27
19	春日丘中三条通南	8:27	8:29	9:37	9:39	10:42	10:44	11:52	11:54	13:22	13:24	14:32	14:34	15:42	15:44	16:28
20	竜田川駅前	8:28	8:28	9:38	9:38	10:43	10:43	11:53	11:53	13:23	13:23	14:33	14:33	15:43	15:43	16:29

: 始発停留所

1 便始発時間：現行の南部ルート始発時間と同時刻とした。

バイパスルート（町道利用案）

		環状ルート(左廻り)								
		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
1	道の駅「大和路へぐり」前		8:39	9:40	10:40	11:40	13:00	14:10	15:10	16:10
2	南都銀行前		8:40	9:41	10:41	11:41	13:01	14:11	15:11	16:11
3	三里交差点		8:42	9:43	10:43	11:43	13:03	14:13	15:13	16:13
4	御陵苑入口		8:44	9:45	10:45	11:45	13:05	14:15	15:15	16:15
5	上庄3丁目		8:45	9:46	10:46	11:46	13:06	14:16	15:16	16:16
6	上庄5丁目		8:46	9:47	10:47	11:47	13:07	14:17	15:17	16:17
7	梨本分館前		8:48	9:49	10:49	11:49	13:09	14:19	15:19	16:19
8	東小学校		8:47	9:48	10:48	11:48	13:08	14:18	15:18	16:18
9	吉新商店街		8:49	9:50	10:50	11:50	13:10	14:20	15:20	16:20
10	下垣内		8:50	9:51	10:51	11:51	13:11	14:21	15:21	16:21
11	プリズム平群前		8:53	9:54	10:54	11:54	13:14	14:24	15:24	16:24
12	竜田川駅西側		8:54	9:55	10:55	11:55	13:15	14:25	15:25	16:25
13	竜田川駅前		8:55	9:56	10:56	11:56	13:16	14:26	15:26	16:26
14	竜田川東側		8:56	9:57	10:57	11:57	13:17	14:27	15:27	16:27
15	椿井交差点南	8:25	8:58	9:59	10:59	11:59	13:19	14:29	15:29	16:29
16	北信貴ヶ丘自治会館	8:26	8:59	10:00	11:00	12:00	13:20	14:30	15:30	16:30
17	竜田川団地3号公園下	8:27	9:00	10:01	11:01	12:01	13:21	14:31	15:31	16:31
18	竜田川ネオボリス	8:30	9:03	10:04	11:04	12:04	13:24	14:34	15:34	16:34
19	竜田川団地入口	8:31	9:04	10:05	11:05	12:05	13:25	14:35	15:35	16:35
20	竜田川駅前	8:34	9:07	10:08	11:08	12:08	13:28	14:38	15:38	16:38
21	竜田川駅西側	8:35	9:08	10:09	11:09	12:09	13:29	14:39	15:39	16:39
22	プリズム平群前	8:36	9:09	10:10	11:10	12:10	13:30	14:40	15:40	16:40
23	道の駅「大和路へぐり」前	8:39	9:12	10:13	11:13	12:13	13:33	14:43	15:43	16:43
			:始発停留所							

1 便始発時間：現行の南部ルートどおり

(3) 需要予測

課題への対応案について「あいバス」の各ルート別の需要予測を行った。

予測方法としては

- ・ 予測年間利用者数 = 現ルート利用者数(人/年) ÷ 現沿道地区人口(人) × 対応案ルート沿道人口(人)
- ・ 予測年間運送収入 = 現ルート運送収入(円/年) ÷ 現沿道地区人口(人) × 対応案ルート沿道人口(人)

現行データ：平成 20 年度、地区別人口：平成 22 年 5 月末

予測結果を以下に示すとともに、次ページの予測計算書を添付する。

表 需要予測結果

ルート名	年間利用者数	年間運送収入	運送経費
西山間	約 14,400 人	約 90 万円	約 1,760 万円 (H20 年度実績)
南部	約 8,700 人	約 80 万円	
バイパス	約 11,000 人	約 100 万円	約 880 万円 (H20 年度実績の 1/2)
合計	約 34,100 人	約 270 万円	約 2,640 万円

新規車両購入費：約 400 万円 (ハイエース級)

【需要予測計算】

【現状の利用状況：H20年度】

西山間ルート	利用者数	11,195	人/年	南ルート	利用者数	14,235	人/年
	輸送収入	658,971	円/年		輸送収入	1,242,517	円/年

【ルート沿道人口：H22.5末】

西山間ルート				南ルート			
地区別人口				地区別人口			
沿道地区名	男	女	計	沿道地区名	男	女	計
福貴	129	150	279	吉新	460	496	956
福貴団地	146	145	291	越木塚	74	110	184
福貴畑	151	157	308	若井	344	371	715
久安寺	87	118	205	西宮	565	618	1,183
信貴畑	111	112	223	日立団地	61	61	122
計	624	682	1,306	春日丘	269	337	606
				竜田川ネオポリス	119	131	250
				竜田川団地	217	219	436
				北信貴ヶ丘	370	420	790
				光ヶ丘	376	414	790
				五月台	55	51	106
				新初香台	31	46	77
				計	2,941	3,274	6,215

【利用割合：沿道人口当たり】

西山間ルート	利用者率	857%		南ルート	利用者率	229%	
	収入率	50457%			収入率	19992%	

【ルート別利用予測】

西山間ルート				南ルート			
地区別人口				地区別人口			
沿道地区名	男	女	計	沿道地区名	男	女	計
福貴	129	150	279	吉新	230	248	478
福貴団地	146	145	291	越木塚	74	110	184
福貴畑	151	157	308	若井	344	371	715
久安寺	87	118	205	西宮	283	309	592
信貴畑	111	112	223	日立団地	61	61	122
鳴川	31	34	65	春日丘	269	337	606
櫛原	148	159	307	光ヶ丘	376	414	790
計	803	875	1,678	五月台	55	51	106
年間利用者数	人/年		14,384	新初香台	31	46	77
年間運送収入	円/年		846,672	櫛原	59	61	120
				計	1,782	2,008	3,790
				年間利用者数	人/年		8,680
				年間運送収入	円/年		757,605

吉新、西宮は南ルートとバイパス
ルートで半分に分割

バイパス			
地区別人口			
沿道地区名	男	女	計
竜田川ネオポリス	119	131	250
竜田川団地	217	219	436
北信貴ヶ丘	370	420	790
西宮	283	309	592
吉新	230	248	478
櫛井	237	253	490
御陵苑	106	115	221
三里	447	478	925
平等寺	73	85	158
下垣内	200	227	427
計	2,282	2,485	4,767
利用者数	人/年		10,917
年間運送収入	円/年		952,930

■コミュニティバス利用促進計画（案）

あいバスの運行経路や運行ダイヤの見直しとは別に、以下の利用促進策を実施する。

（１）利用者の利便性向上

自由乗降区間設定

高齢者や交通弱者の歩行時間を出来るだけ短縮できるように、停留所に限らず路線上であれば、どこでも乗り降り出来るフリー乗車区間（西山間ルート）を設定する。

バス停留所の整備

停留所の位置が目立つように、統一した停留所マークを設置する。



写真）現況のあいバス停留

（２）あいバスへの愛着度向上

あいバス車体のカラーリングの統一化

現在、「あいバス」として、２台が運行されているが、その各々で車体のカラーリングが異なっている。

そのため、新規導入分と既存の１台について、車体のカラーリングを施す。

実施するカラーリングは既存１台（右写真）と同じものとする。



写真）現在のカラーリング

（３）情報配信

公共交通広報誌の配布（路線、時刻表等）

鉄道、バスに関する路線、時刻表を配布する。

作成にあたっては、ダイヤ改正等を踏まえて対応が可能（例：町広報誌内で収まるように）となるようにする。

携帯キャリアの整備

自宅や停留所等に行かなくても、運行ダイヤが見られるようにするため、携帯電話の「ＱＲコード」を町ホームページや停留所に掲載する。



携帯用ＱＲコード事例



広報誌事例「豊岡市」

■ 今後の課題

(1) 公共交通事業者との連携

今回計画する公共交通の利用促進に向け、公共交通の使いやすさの向上が求められる。そのためには、コミュニティバスと路線バス(基幹バス)、鉄道との結節機能を強化させることが重要である。具体には、

- ・ 接続性の強化(待ち時間)
- ・ 結節点での待合機能・ターミナル機能
- ・ 共用の時刻表の作成

などがあげられる。

実現に当たって、N C バス、近鉄、タクシー事業者などとの調整・連携を行なう必要がある。

(2) 大型店舗との協働

あいバスの利便性向上、経費削減等の検討にあたっては、国道 168 号バイパスの大規模店舗等の設置者との協働の可能性について協議を行う。

協働事項例：車両管理、運行事業、バス経費負担、バス利用割引(料金、店舗サービス券等)

(3) 近鉄平群駅前広場整備

近鉄平群駅前広場整備完了時(平成 24 年度供用予定)に周辺ルートの見直しを行う。この際に、十分なバスアクセスや交通結節機能が確保できるよう、関係者との調整を行なう必要がある。

- ・ バス停車位置
- ・ 鉄道改札とバス停車場とのアクセス性
- ・ 駅前広場での入口の円滑性・安全性の確保
- ・ 幹線道路までの経路

■ 次回交通会議での検討事項

(1) 調整結果

今回提示した素案及び指摘事項を受け、各関係者との協議・調整を行なう。それを基に『素案修正版』を提示する予定である。

- ・ 運行ルート及びバス停位置
- ・ 時刻表
- ・ バス本体及び設備計画

(2) 事業計画

地域公共交通連携計画を策定するにあたり、事業計画を提示する予定である。

- ・ 事業主体
- ・ 事業スケジュール
- ・ 運賃計画（収入計画）
- ・ 費用計画（支出計画）

(3) 評価手法

地域公共交通連携計画を策定するにあたり、社会実験の評価項目・評価値を提示する予定である。実験中に評価値に満たない場合、あるいは満足する見込みの無い場合は、廃止に関する検討も行う。

- ・ 収支
- ・ 利用率 等